

第 7 回 作手地域協議会 会議録【要約】

日時	令和 6 年 1 0 月 1 1 日（金） 午後 7 時 3 0 分～午後 9 時 1 0 分	(公 開)	・一部非公開・非公開
場所	作手総合支所 会議室		
出席者	委員 1 6 名（欠席者 7 名） 事務局 3 名	傍聴人数	1 名
次 第	<p>1 あいさつ</p> <p>2 情報提供</p> <p>3 報告事項 第 6 回会議録について</p> <p>4 議事 (1)令和 7 年度作手地域自治区予算事業に関する建議書(案)について (2)令和 7 年度作手地域自治区地域活動交付金事業の検討について ①募集要項について ②プレゼンテーション・審査について (3)市長との意見交換会について</p> <p>5 その他 第 8 回作手地域協議会の日程調整</p> <p>(配布資料) 次第、第 6 回作手地域協議会会議録【要約】、作手地域自治区予算事業に関する建議書(案)、作手地域自治区地域活動交付金事業募集要項検討資料、令和 6 年度(2024 年度)作手地域協議会カレンダー、令和 7 年度作手地域自治区地域活動交付金検討資料、採点票記載例、作手地域自治区地域活動交付金審査基準、地域活動交付金審査の視点、参考資料 地域活動交付金【H25～R6】、市長との意見交換会のテーマ候補について</p>		

1 あいさつ

会長より挨拶。

副会長より会議録署名委員を佐宗昭宏委員、佐宗恵理子委員に依頼した。

2 情報提供

委員 高校生の通学について中学校の PTA で下宿の住宅費の補助が出るかも知れないことを伝えたところ、やった欲しいという意見と下宿させるのは恐いため、例えば交通費の補助を検討できないかとの意見が出た。今後検討できればと思う。

事務局 防災キャンプの申込みが始まったこと、身近に興味がある方がいれば伝えてほしいこと、資料は作手総合支所、つくで交流館にあることを情報共有した。

会長 ほのかにこの内容は掲載されるか。

事務局 無線で放送する事を検討している。

会長 奥三河の自然と暮らしを守る会で10月19日土曜日に相寺の老人憩いの家で2時30分から第2回奥三河の未来を語る会を開催される。人口減少、移住、空き屋をテーマに行われる。1時30分からは相寺の田んぼツアーを計画している。興味のある方は参加下さい。

委員 質問で開催されるラリージャパンを利用して作手の情報発信を行わないのか。下山地区では大きな幕を出していた。世界のラリー大会が開催されているのに歓迎がされていないと市外の方に言われた。このようなイベントを利用して情報発信をしないのか。

事務局 母体となったのが新城ラリーがあった。新城ラリーが様々な理由で蒲郡市に行った。その中でトヨタ自動車も含め新城と一緒に行っていったが主体は蒲郡市、岡崎市、豊田市、恵那市にシフトしていった。企業がそちらに向いているので実際のところと言うと、WRC、全日本についても岡崎市、豊田市、恵那市を中心に行っていく所に来ている。新城市との繋がりもあり1つのルート、SS ステージを残して行く体制にあるので積極的に行えない。

委員 今度市長に聞いてみたい。

事務局 市の中のスポーツイベント的などが八名で自転車のレースを行ったが、ラリーが蒲郡市に移ったところもあり、市としては自転車の方にアジア大会に向けてシフトしていく事になると思う。なのでWRCに力を入れることは難しいと思う。主催者側もそちらに向いてしまっている。

副会長 公開 SS も関係あるのでは。

事務局 見れる場所、コース選定は主催者が決めるところになる。

委員 作手のための考え方はできないか。作手の魅力や誘致のアピールを行わないのか。

事務局 以前の新城ラリーでは歓迎の形をとっていた。

委員 ラリーとか自転車とかそういう事ではなく、作手全体でイベントに対しての歓迎がないと言っていると思う。

委員 使ってもらって結構、でもこちらも利用する。

事務局 逆言うと行政だけではできないこと。岡崎市や下山地区で言うと地区の中の人が立ち上がってやっているところもある。

委員 行政のイベントがあるので地域へ協力するよう声かけをするべき。

事務局 それもそうで市民の中からも声が上がってくる事もしかりと思う。そして一緒になって行く。

委員 田原地区で常会の時に市から話がないのか話題になった。

事務局 先日、区長会でも話になった。主体は観光課ではあるが支所を通じて開成小学校が駐車場、キッチンカーなど飲食スペースがあるが西田原区に伝わってなかった。沿線の行政区には説明があったが、それ以外の行政区に説明が足りなかったので、早速今週に区長さんのところへ伺って説明を行っている。これから皆さんの所へ伝わっていくと思う。

副会長 オリエンテーリングやラリーなどは須山、川合では毎年毎回のことでいつも案内が来るが、そのたび横段幕を張るような雰囲気ではなく、須山地区は疲れてしまっている様子はある。SNSを使って広報できればと思う。

3 報告事項

第6回会議録を資料に振り返りを行った。事業計画案の決定、次年度の自治区予算検討スケジュールについて話し合った。

4 議事

(1)令和7年度作手地域自治区予算事業に関する建議書(案)について

事業計画案について地域からの意見募集を9月15日から9月30日まで行ったが意見はなかった。これをもって建議書としてまとめ、事業計画の決定としたいと思う。決定後は次回の意見交換会の前に市長さんに会長さんから建議書を渡していただく予定をしている。

【別紙 作手地域自治区予算事業に関する建議書 参考】

(質問)

会長 建議書の建議とは何か。

事務局 事業計画を市長へ渡す。建議書を渡すことを建議。

会長 自身が出席できない場合は副会長に建議をしてもらうようお願いします。

副会長 令和7年度作手地域自治区予算事業に関する建議書案について原案の通りで良いか採決を行う。
全員挙手で原案の通り決定とする。

(2)令和7年度作手地域自治区地域活動交付金事業の検討について

①募集要項について

事務局より説明

検討事項	昨年の状況	令和7年度(案)
募集期間	・募集期間 11/20～12/28 ・審査日 2/18	・募集期間 11/15～12/27 ・審査日 2/16
応募資格・要件	・16歳以上の3人以上で構成する団体 ・構成員のうち作手地域自治区の区域内に在住	現行のとおり
交付限度額	500千円/団体	現行のとおり
交付率	交付対象経費の100%以内	現行のとおり

副会長 事務局より説明があったが質問はあるか。それでは採決を取る。募集要項について令和7年度案で賛成の方は挙手をお願いします。挙手多数により決定とする。

会長 趣旨はこれでよいが今年度は4月に予算が余ったが追加募集しないと会で決まったが、広報をしっかりとしないと応募する団体が少なくなり予算が余ってはもったいない。めぼしい団体に事務局から声をかけてはどうかと個人的には思う。

委員 募集期間が1ヶ月では難しいと言っていた。なので最初から2次募集に関しては期間を長くしては。

事務局 2次募集はその時にならないとわからないので考えていない。まず募集期間で申請するようにする。

事務局 仮に予算が余った時はその時の協議会委員で2次募集について考えてもらう。その時に過去募集期間が短いとの意見も合ったので期間を長くしてみてもは。情報の共有を行う。

委員 募集期間を長くするか申請を簡略化するかスムーズに交付できるような形にしてはどうか。年度当初に2次募集を行うのは大変で、やめた方がよいと言っていた。そうではなくてやれる方向で考えてみては。

事務局 申請書は決まっている物があるので期間を長くする形。長くしすぎると活動する時間も短くなるので丁度良い期間を考えるよう、2次募集を行う時は次の協議会委員へ共有する。

- 会長 基本的には2次募集は考えてなく1次募集で決まってしまうえばそれが1番良い。新たな団体や各行政区などに申請して欲しいと思う。声をかけてはどうか。
- 委員 フレンチの会では活動団体が持ち出しをしている。交付団体に選ばれるために予算削減を行っていると思う。
- 委員 執行しやすいようにするにはどうすれば良いか。追加募集を行えるように簡略化するとか。
- 委員 予算を絞っている団体もいると思う。満額と、最低これだけ欲しいという表記にしておいて、250万に満たないときは満額を出す形にしてはどうか。より多くの団体ができてきた場合は最低額を交付する。
- 事務局 事務局に申請が出てきたときに不平等がないようにしなくてはいけない。申請書が出てきた時に団体の事業内容を確認するしかない。もし団体が負担している所があるなら申請書に載せるよう伝える。
- 委員 令和5年度は申請がオーバーした時はどうしたか。
- 事務局 審査会で審査を行い平均点が高い順に並べ、予算が足りない団体については対象該当か。
- 委員 オーバーした団体は切ってしまう。
- 事務局 切ってしまうのではなく、交付団体として認められるが残金がこれだけだがこの金額で執行するかどうか判断してもらおう。できなければ辞退という形となる。
- 委員 過去2次募集をしたことはあるか。
- 事務局 ある。
- 委員 その時も審査をしたか。
- 事務局 1次募集の時と同条件で審査をした。条件を変更して2次募集の方が応募しやすくなるのも良くない。準備が間に合わなければ次の年に回させてもらうが仮に予算が余って2次募集を行うと協議会で決まれば行う。
- 委員 それを踏まえれば難しいところではないと思うし、募集期間が終わった段階で予算の残高がわかると思うので間を開けずに2次募集をして今年度中に行うこともできると思う。過去の事例もあるので検証してはどうか。
- 事務局 過去の事例は年度が開けてから2次募集を行った。
- 事務局 昔は3月審査だった、現在は2月だが。年度がかわってしまわないと次の募集準備する時間がない。

委員 12月27日時点で予算が余るかわかる。正月明けに2次募集をしたらどうか。そして審査日前に申請書を出せば予算執行できるのでは。残りの予算もわかるので踏まえてすぐに応募してはどうか。1月上旬から応募して審査会に間に合う時期まで募集しては。

事務局 12月末まで募集を行い、予算が余ったら1月上旬から2次募集を行う形か。

委員 すぐ2次募集をすれば残り予算もわかり、申請が出てくると思う。

委員 できれば審査員は同じ方がよい。これだけ募集期間が長く悩んで2次募集があれば申請しようとする団体もあると思う。

事務局 それならば1次の募集期間を長くしてはどうか。12月末が期限だが休み期間も含めて例えば1月10日にするとか。

事務局 過去正月は他のことで忙しいため締め切りを前倒しした経緯がある。また決めるのは協議委員。

委員 1次募集に間に合わせて申請した人、2次募集があったので申請した人で予算がオーバーしたときに優先されるのは1次募集で申請した人になるのかも決める必要があると思う。それとも公平なのか。また過去は過去で募集期間を最長にして募集してみてもどうか。基本的にはやりたい人が応募するもので期限に間に合わせてくる。募集期間が長くなれば申請する人も増えるかも知れないので期間を伸ばす方が現実的に思う。年度またいで申請しても委員も替わったばかりなので何をするかわからないと思いで審査はまとめてできた方がよいと思う。

副会長 一度は採決を取ったが修正する形にするか。

委員 期間を長くしても予算が余れば募集する期間がなくなる。1次募集はあくまでも1次募集にしておいて予算が余った追加募集をしてはどうか。

委員 審査基準を公にして1次募集の場合はそのまま審査する。2次募集の場合はマイナス点を決めておけばどうか。

会長 1次募集で審査して通れば決定。残った金額について2次募集を行う。募集するのであれば残った予算に対して2次募集を行うかどうか決める。

委員 1次募集は1次募集で予算枠が審査する前から決定する。残った予算の中で2次募集を行えば不公平感はないか。

委員 申請団体は1次募集を目指して申請する。2次募集狙いは金額がいくら残るかわからないので計画もたてれないと思う。去年はたまたま予算が余って2次募集をするかどうかの話合いになったがその前の年は申請団体が多かった。2次募集はあくまで予算が余った時のものと思う。

委員 予算が余るかわからないので余った段階で検討してはどうか。今こ

ここで話していても。前回は予算が余ったので2次募集を行うか、期間も短く大変なので行わない事に納得できなかった。なので予算が余った段階で検討してはどうか。

副会長 今回は募集要項の変更についてで文言に出てこないところの話合いのだったと思う。先ほどの決議で良いか。挙手多数で募集要項の内容について決定とする。
2次募集についてはその時に決めていくようにする。

事務局より説明

②プレゼンテーション・審査について

検討事項	昨年の状況	令和7年度(案)
説明者の要件 【プレゼンテーション】	団体の正会員。ただし、地域協議会委員がプレゼンテーションを行う場合は、審査会の参加を辞退する。	現行のとおり
プレゼンテーションの実施基準	総事業費が100千万未満の団体は免除。ただし、質疑応答を行うため審査会へ出席すること。	現行のとおり
審査基準	別添採点票	現行のとおり

副課長 事務局より説明があったが質問はあるか。それではプレゼンテーション、審査について現行のとおり良いか採決を行う。挙手多数に決定とする。本日の内容で11月より募集ができるように進めていく。

副会長 最後の議題、市長との意見交換会についてです。昨年まではつくで交流館ホールに作手住民が参加し市長と意見交換を行っていたが、他の地区も同様に今年度からは地域協議会との意見交換会の形となった。そのため市長に聞きたいテーマや質問を事前に決めたいと思う。
この議題に入る前に皆さんに提案がある。まちづくり計画策定委員さんから協議会委員さんと情報共有を図りたいとの依頼があった。前回の会議で皆さんからも情報共有する機会を持ってはどうかとの意見があったので11月1日の市長との意見交換会の後に情報共有の場を取りたいと考えている。11月1日の流れは7時から7時15分までが市長への建議。7時15分から8時15分までの1時間を市長との意見交換会。8時15分から8時45分までをまちづくり策定委員さんとの情報共有の時間を取りたいと思っているがどうか。質問はあるか。

委員 もう一度お願いします。

副会長 まちづくり策定委員さんと協議委員さんとの情報共有を意見交換会

後に 30 分間設けたいと思うが賛同いただけるかということ。

副会長 まちづくり策定委員さんも複数名参加するのか。

事務局 今日これで協議会員さん了解をもらえればまちづくり策定委員さんに連絡をする。全員は日が短いので難しいと思うが、来れる方に来てもらおうと考えている。

副会長 計画する形でよろしいか。
挙手多数なので策定委員の会長に伝える。

副会長 意見交換会の質問事項を決めたいと思う。他の自治区の質問も確認している。意見がある方は願います。

【別紙 意見交換会 質問事項 参照】

副会長 それぞれ質問する方を決める。提案いただいた方に質問して欲しいがどうか。

会長 順番も決めておきたい。

委員 返答を書面でもらいたい。

副会長 それぞれに質問者を決めたいがどうか。

委員 地域協議会からの質問なので代表者が質問してはどうか。

副会長 ではそういう形で。そこから委員さんが質問して広げる。

委員 1 時間で全部聞けるか。

副会長 質問をまとめてもらって。

事務局 質問する順番を決めておきたい。

委員 質問する内容は事前に見れるか。

事務局 議事録を作って皆さんに事前に送付するので可能。質問の意味合いが異なるようなら当日言ってほしい。

会長 意見交換会前に事前の打合せを行うので一任してもらって良いか。

5 その他

(1) 第 6 回 作手地域協議会の日程調整

日時：令和 6 年 1 月 1 日（金）午後 7 時 0 0 分から

場所：つくで交流館 ホール

【終了】